

第 14 回スペクトル管理 SWG 議事録

1. 日時:平成 16 年 7 月 22 日(木)10:00 - 19:00

2. 場所:TTC 事務局 4F DE 会議室

3. 出欠者:

・出席会員数/全会員数 26/34 (出席数には議長委任状 5 を含む)

・出席委員数/全委員数 40/62 (出席数には議長委任状 9 を含む)

以上により会議成立

4. リーダ指名、サブリーダー選出(敬称略)

・DSL 専門委員会特別委員の吉井伸一郎(北大)を、スペクトル管理 SWG のリーダーに指名

・林 明(NTT 東)、松本一也(SEI)、羽賀良和(ACCA)をサブリーダーに選出

以降、議長:吉井伸一郎(SWG リーダ)、副議長:林明、松本一也、羽賀良和(サブリーダー)により審議

5. 会議資料:議事次第

6. 議事要約

6-1. 議事次第について承認

・遅延寄書(SMS-14-06)は本会合で扱う。

・クロスチェックの報告については、計算に時間が掛かるため、寄書提出期限に遅れることもある。クロスチェックの寄書を提出する予定である場合は、提出期限前に計算結果の記載が無い寄書を提出し、計算終了後に改1版として提出する。

6-2. 議事録担当 パラダイム

6-3. 前回議事録を確認 <SMS-14-01>

・PBO について、アドホック会合では運用上の問題を検討し、DSL 事業者、メーカーが参加できる。本 SWG では技術上の課題を検討する。

6-4. スペクトル適合性確認結果報告書を確認<SMS-14-02>

・暫定運用についての合意にもとづき改定した。

6-5. 課題表の確認 <SMS-14-03>

SMS-14-SMS-01R1 を用い説明と確認。

・課題を、A(一般)、B(第 2 版にもとづく適合性確認作業)、C(第 3 版にむけて)に分類した

・C7 項について議論、公衆網以外については本 SWG の作業は技術資料作成までとする。

・B9 項(B.1.9、B.1.9.1、B.1.9.2)は、クロスチェックルールに従って合意とする。

スペクトル適合性確認結果報告書に追加する。

6-6. JJ100.01(第 2 版への追加)<SMS-14-04、SMS-14-05、SMS-14-046>

・LR1-VDSL についてはクロスチェックが終了し、スペクトル適合性確認結果報告書に追加する。

・LR2-VDSL については PSD の一部が VDSL 標準を超えるため、1 週間以内に修正版を提出する。

修正版によりクロスチェックを行う。

6-7. JJ100.01 第3版に向けて

6-7-1. PBO<SMS-14-07、SMS-14-08、SMS-14-09>

・課題表を整理しオープンとして検討を継続する。

6-7-2. マルチゲージ、BT、保護判定基準値<SMS-14-10、SMS-14-11、SMS-14-12>

・次回SWGで、各社が意見を出す。

6-7-3. 改定作業スケジュール案(TD)

・スケジュールを確認

6-8. 課題表の整理

・合意できるもの、クローズすべきものを検討。

・9月にオープン 이슈を解消することを目標とする。

7. 今後の予定

・次回以降の会合は以下日程を予定

8月19日(木)

事務局より栄村での合宿形式(19、20の2日間)が提案された。

・メーリングリスト上で都合を確認する。難しければ従来どおりTTCで開催、

・寄書が多いことが予想されるため20日も継続する予定。

9月17日(金) 10:00~

注)9月13日~16日は仕様検討SWGが予定されている。

・今後は11月30日までの制定に向け、3週間ごとの金曜日開催を基本とする。

・寄書の提出は、SWG開催の前週同じ曜日の24時を期限とする。

・寄書に対する対案提出は、3日前の午前10時を期限とする。

以上